

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	865.43	2020/10/19
High	919.81	2020/10/23
Low	854.33	2020/10/20
Close	906.50	2020/10/23

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	2934.00	2020/10/19
High	3099.00	2020/10/23
Low	2896.00	2020/10/20
Close	3051.00	2020/10/23

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2335.00	2020/10/19
High	2418.00	2020/10/22
Low	2331.00	2020/10/19
Close	2395.00	2020/10/23

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7912.00	2020/10/19
High	8196.00	2020/10/21
Low	7899.00	2020/10/19
Close	8063.00	2020/10/23

ニュースエクスプレス

中国・日本、この先4年のプラチナ需要回復を牽引

今期のプラチナ需要は、自動車セクターと宝飾セクターの需要減により、世界規模で7.2%減少となる見込み。例年、全需要に占める上記セクターの割合はそれぞれ34%と24%であるが、感染症流行による自動車セクターのプラチナ需要への打撃にも関わらず、排気ガス基準の厳正化の施行に伴い、来る4年間にかけ需要は回復するだろうとデータ / アナリスト会社のGlobalDataは予測。2020年から2024年にかけて、自動車業界からのプラチナ需要増は、世界基準では年平均成長率で3.8%、中国単独では9.5%の予測。これに応じて、この期間の世界規模のプラチナ需要は、年平均成長率で4.3%増と予測される一方、同予測期間での中国と日本のプラチナ需要は、それぞれ年平均成長率で5.2%増と2.4%増になると予測される。

(ソース: <https://www.miningweekly.com/article/china-japan-to-lead-platinum-demand-rebound-over-next-four-years-2020-10-23>)

Anglo American、第3四半期末をほぼフル操業で

今週木曜日、Anglo Americanでは第3四半期末の現在、世界的コロナ拡大情勢への調整後、通常生産能力の95%で操業中と報じた。プラチナ生産量は前年比2%減で、52万6800オンスから51万6500オンスに減少した。パラジウムの生産量は、前年と同等の35万2200オンスであった。プラチナの生産量指標では、前年の150万オンス～170万オンスから170万オンス～180万オンスへと増加。パラジウムの生産量指標では、前年の100万オンス～120万オンスから110万オンス～120万オンスへと増加している。

(ソース: <https://www.lse.co.uk/news/AAL/top-news-anglo-american-operating-near-100-at-end-of-third-quarter-z429fgvq3tvqu35.html>)

Johnson Matthey、上海に燃料電池部品工場を新設

Johnson Mattheyは、燃料電池事業を中国に拡大し、750万ポンドを投じて上海に燃料電池部品を製造する最新施設を建設したと発表した。施設は完成しており、現在は試運転を実行中。新工場は2021年1月までにフル稼働、顧客に製品提供を開始する予定。1万台以上のバス及び商用車の電力供給を可能にする年間400万の膜 / 電極接合体 (Membrane Electrode Assembly : MEA) 部品の生産能力を有する。これにより、年間125,000トンの二酸化炭素排出量削減を目指す。新工場建設により、同社は英国の工場拡張と合わせてMEAの年間総生産能力を600万個超に引き上げる計画だ。

(ソース: <https://www.marklines.com/ja/news/245551>)

Translated by Kazuko Osawa, JBMA

WPIC直近の活動

- ブリオン型プラチナ製品の人気世界的に高まる中英王立造幣局が新たなプラチナコインを発表。詳しくWPICが10月14日に出しているプラチナ豆知識「雄叫びのごとく」をご覧ください。  
<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2020/10/14>
- プラチナは、水素経済に不可欠な燃料電池自動車だけでなく、グリーン水素生産にも欠かせない。詳しくはWPICが10月7日に出しているプラチナ豆知識「水素経済の中心にあるプラチナ」をご覧ください。  
<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2020/10/07>



(@wpicjapan)